

理念

生命を安心して預けられる病院 健康と生活を守る病院
「あなたとあなたの家族によりそう」「安全 快適 自己実現」



医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院

広
報
誌

よりそう

vol. 37

新築移転して1年が過ぎ、
旧病院の解体がほぼ終了しました。

昭和62年2月開院当時の仙台徳洲会病院



nouveau2023





肝臓内科 副院長

近藤 泰輝 医師

YASUTERU KONDO



■主たる学術認定・専門医

- ・日本内科学会（指導医、認定医、総合内科専門医）
- ・日本消化器病学会（専門医、指導医、東北支部評議、学会評議員）
- ・日本肝臓学会（専門医、指導医、東部会評議員、全国評議員（代議員））
- ・日本内視鏡学会
- ・がん治療認定医機構（認定医、指導医）
- ・日本移植学会員（認定医）
- ・日本免疫学会員
- ・肝臓治療研究会員
- ・肝移植研究会員
- ・ウイルス学会員
- ・日本超音波学会員
- ・日本がん学会員
- ・アメリカ肝臓学会（国際メンバー、フェロー）
- ・アジア太平洋肝臓学会（メンバー）
- ・アブレーション研究会（幹事）

肝臓内科で扱う主な症例

急性肝炎、劇症肝炎

- A型肝炎 ●B型肝炎 ●E型肝炎 ●アルコール性肝炎

慢性肝炎

- B型ウイルス性肝炎 ●C型ウイルス性肝炎 ●脂肪性肝障害
- アルコール性肝障害 ●自己免疫性肝炎 ●原発性胆汁性肝硬変
- 薬物性肝障害肝硬変

肝硬変

- 肝硬変による血小板減少症
- 肝硬変による門脈圧亢進症（食道静脈瘤、胃静脈瘤、シャント）
- 難治性腹水 ●肝性脳症

悪性肝腫瘍

- 肝細胞癌 ●肝内胆管癌 ●嚢胞腺癌 ●転移性肝癌

他肝疾患

- 肝膿瘍 ●巨大肝のう胞 ●多発肝のう胞

揺るぎない “3つの信念”

1. 疾患の切れ目のない医療を提供

肝臓内科では、専門知識と最先端の医療技術を用いて肝炎から肝硬変、肝臓がんと切れ目のない医療を提供していきます。肝臓は沈黙の臓器とも呼ばれ、がんや炎症があっても初期には自覚症状がほとんどありません。定期健診やほかの病気の検査で発見されるというケースが多くあります。また、慢性肝炎、肝硬変、肝臓がん、全て一連の病気です。進行した場合には、お腹が痛くなったり、黄疸がでたり、腹水が溜まったりします。

2. 沈黙の臓器の疾患は、早期に発見することが大事

がんにならないことが最強のがんの治療です。例えばC型肝炎だったら、C型肝炎ウイルスを排除する。C型肝炎を排除してもがんは出来てくるので、どのくらいの頻度で出来てくるかという情報を把握するために、半年に1回もしくは3ヶ月に1回程度、画像検査をしっかりと、がんを早期に発見することが大事です。そのようにしていればほぼ根治させることが出来るので、慢性肝炎をしっかりと治してがんになりにくい状態を維持します。

そして、飲酒をされている方であれば、「あなたはこのくらい進めますよ」ということを正確に診断して、断酒に向けた指導をしています。断酒は重要です。どうしても断酒出来ない方には減らすところから始めています。

3. 患者さんに合わせた適切な診断治療を心がけています

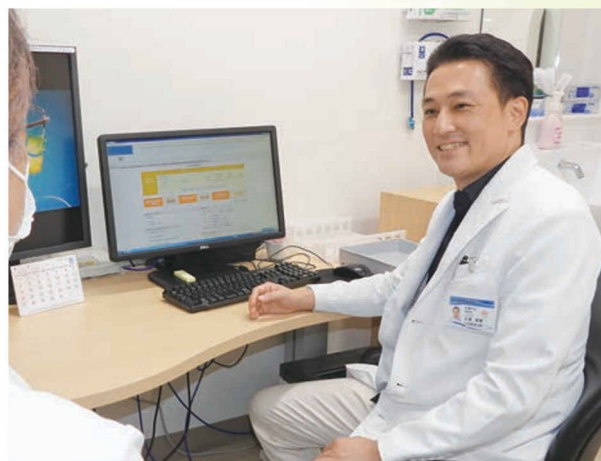
肝がんの内科的治療は、日々進歩しており、手術が適切な治療法ではない症例に対し、最新の機器を用いたラジオ波焼灼療法（RFA）、マイクロ波凝固療法（MWA）、経皮的肝動脈化学塞栓療法（TACE）、持続肝動注療法（HAIC）を積極的に行っています。

ラジオ波焼灼療法とは、皮膚を通して電極針を腫瘍に挿入し、ラジオ波という電流を針に流し、熱を発生させて焼灼し腫瘍を壊死させる方法です。

肝動脈化学塞栓療法とは、足の付け根や腕の動脈からカテーテルを挿入して、肝臓内の腫瘍を栄養する細い動脈に抗癌剤などを入れて動脈の血流を遮断し、腫瘍細胞を壊死させる方法です。

バルーンカテーテルを用いた方法や薬剤溶出性ビーズ（DEB）を用いた治療をうまく組み合わせることにより、巨大な肝細胞がんに対しても治療効果が得られるようになってきています。また、安静時間を守れないような高齢の患者さんなどには、腕からアプローチして治療を行うことも出来ます。

また、肝硬変治療として、難治性腹水の患者さんに対しての腹水濾過濃縮再静注法（CART療法）や、門脈圧亢進症状（胃食道静脈瘤など）、脾機能亢進症状（血小板減少など）に対するバルーン下逆行性経静脈的塞栓術（BRTO治療）、経皮経肝静脈瘤塞栓術（PTO治療）、部分的脾動脈塞栓術（PSE治療）も多数行っております。



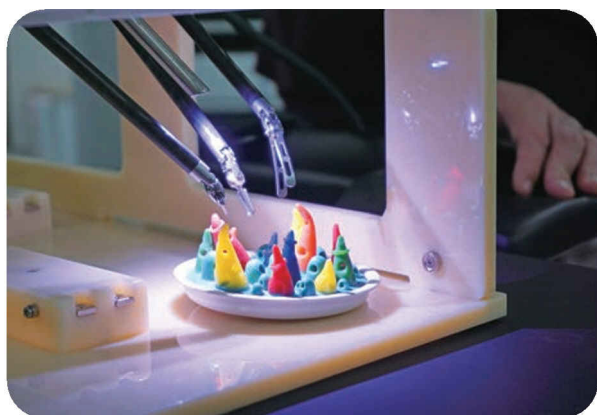
手術支援ロボット

da Vinci Xi 稼働

低侵襲外科手術の
更なる高みへ

外科部長 **神賀 貴大**

- ・日本外科学会（外科専門医、指導医）
- ・日本消化器外科学会（消化器外科専門医、指導医、消化器がん外科治療認定医）
- ・日本消化器病学会（消化器病専門医、指導医）
- ・日本膵臓学会（指導医）
- ・日本臨床腫瘍学会（がん薬物療法専門医）
- ・日本腹部救急医学会（腹部救急認定医）
- ・日本がん治療認定医機構（がん治療認定医）
- ・日本内視鏡外科学会（技術認定医）
- ・検診マンモグラフィ読影認定医



鉗子の自由な動き

従来の腹腔鏡手術では手元の動きと鉗子の動きは逆方向となりましたが、ロボット手術では同方向への自然な動きが可能です。ダヴィンチ・システム独自の機能で術者の手ぶれも防止されます。操作が容易で人間の手首や指と同じように操作できます。



高解像度3D画像

従来の腹腔鏡手術では、術者は2次元の画像を見ていました。ダヴィンチ・システムでは3次元立体画像を見ながら手術ができます。奥行きを感じて操作できるため、より正確かつ安全な手術が可能となりました。

DOCTOR'S INTERVIEW

当院では、昨年末に最新機種「ダヴィンチ Xi」を導入し、消化器外科での初症例に向け、多職種でシミュレーションを重ねてきました。1例目の患者さんを慎重に検討していたところ、消化器内科を訪れた患者さんに上行結腸がんが見つかり、ダヴィンチによるロボット手術を選択。

手術を担当した神賀貴大・外科部長は「腫瘍が大きく、過去に手術既往があったため腹壁への癒着が心配でしたが、患者さん自身が早めの治療を望み、ロボット手術への強い関心がありましたので、提案しました。結果的に腹壁への癒着は軽度で、手術自体も無事に終了しました」と経緯を説明する。

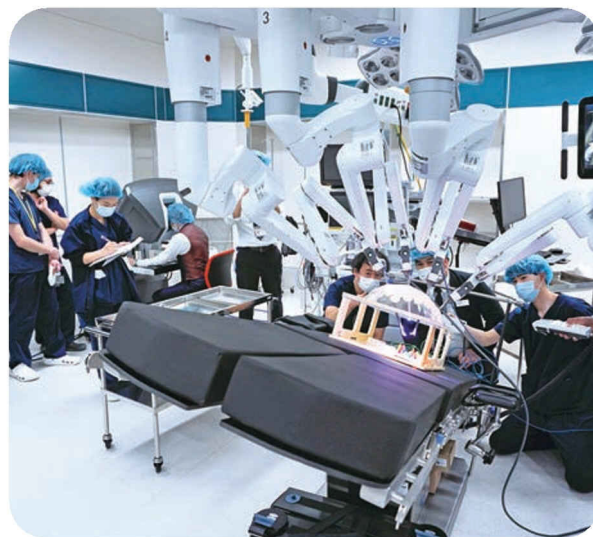
ダヴィンチの操作性に関し、「ロボットアームは人の手では困難な屈曲や回転が可能のため、鉗子操作の自由度が高く、クオリティーの高い手術ができました。また視野も、腹腔鏡下手術では見えなかったものが見える感覚で、手術しやすかったです」と強調する。

そして、「今後も結腸がんの症例を重ねていきますが、S状結腸の手術は上行結腸とは逆側にダヴィンチを設置するなど、部位によってアプローチが変わるため、事前にどんなケースでも対応できるようにシミュレーションしておくことが重要。患者さんの動線や機器の配置は手術室看護師が考えるが、チーム内で役割分担をし、チームとして成熟することで、よりスムーズな手術を目指します。私自身は、なるべく毎日シミュレーターを用いたダヴィンチの訓練を行い、自分の手のように操作できるように研鑽しています」とアピール。「当院にダヴィンチがあることは地域のなかで他の病院に対して大きな差別化になり、単科でダヴィンチを運用しているため、短い待ち時間でロボット手術を受けられるのもメリットだと考えます」と意気軒昂に語った。



執刀医の負担軽減

ダヴィンチ手術では、座って手術が行えるため医師の肉体的な負担も軽減できます。加えて手ブレ防止機能によって突発的な動きを制御し医師のメンタルもサポートしています。術者にかかるストレスが軽減され、より確実な手術を行えます。



患者さんへの負担が軽減

ダヴィンチ手術は鏡視下手術同様、患者さんの体に1-2cmの小さな穴を開けて行う、傷口が小さい手術です。手術中の出血量が少ない、手術後の疼痛が軽減できる、合併症リスクの大幅な回避ができるといったメリットがあります。早期の社会復帰も可能です。

健康寿命を延ばすため 健診・検診を活用しましょう



いつまでも健康でいるために

健康寿命を延ばし、いつまでも健康でいるためには毎日の運動、野菜を意識した食生活、タバコを吸われる方はタバコをやめるといったことも重要です。こういった普段からできるちょっとした取り組みが健康寿命の延伸に繋がります。そして、その取り組みの中に健診、検診を盛り込んで上手に活用していくことで、定期的に自分の身体の状態を確認する、知っておくというのがおすすめです。

意識したい“健康寿命”

皆さんは健康寿命という言葉聞いたことがありますでしょうか。WHOが提唱した新しい指標で、健康上の問題によって日常生活が制限されることなく生活できる期間のことです。

日本は世界的な長寿国といわれていますが平均寿命と健康寿命の差は大きく、男性で約9年、女性で約12年の差があり、健康寿命をいかに延ばしていくかが今後の大きな課題となっています。

大事なのは予防・早期発見

健康寿命を延ばすために、厚生労働省では健診・検診での定期的な健康チェックを呼び掛けています。

早期だと自覚症状が全く無いという病気は少なくありません。そういったリスクを早期に発見し、対処していくためには、無症状のうちから定期的に自分の体の状態を知っておくことが重要です。

健診と検診の違いって？

健診と検診の読み方はどちらも「けんしん」ですが、それぞれの意味は異なります。まず、健診は「健康状態を調べる」ための診断を指す言葉です。健康診断は肥満や血圧測定など体の全体的なチェックを行うことが目的で、病気にならないようにする、生活習慣改善のための一次予防の検査となります。検診は「特定の病気を早期発見する」ことを目的としており、「がん検診」などのように、特定の病気を早期に発見して早期に治療するための二次予防の検査です。健診と、検診で意味、目的は異なりますが、どちらも健康を保つためには定期的に受けることが大切です。



医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院 予防医学センター（ドック・健診）

〒981-3116 宮城県仙台市泉区高玉町9-8

TEL: 022-771-5117 FAX: 022-771-5118

HPアドレス <https://sendai.tokushukai.jp/>





ぶつからない とまらない

パーソナルスペースを考える

広報誌編集委員

前から人が歩いてきたり、自動ドアで入る人と出る人とで、タイミングが重なったら譲ったりすると思いますが、混雑するバスや電車の中での譲る行為はなかなかハードルが高いのではないのでしょうか？しかし、先日大阪に行って電車で複数の路線を乗り継ぎましたが、普通に譲り合う場面に遭遇しました。街中も圧倒的に仙台よりも行きかう人が多いなか、かなりのスピードで歩く人ばかりでしたが、ぶつかりませんし、多方面から人が流れてきて1つのエスカレーターに昇る際も、ベルトコンベアーに載せられた荷物かの如く整然と乗れました。大阪っていうと、勝手なイメージですが、せっかちで我先に突き進むものだと思っておりましたが、意外でした。そこで、私なりに考察した結果、環境が人間としての本能を進化させたのではないかと。

人が多いので歩きにくい



効率よく快適に移動するにはどうすればいいか



協調してテトリスのように隙間が無いほうが数多く進む事ができるのでは？



なるほど、なるほどですね。それならお互いに声掛けしましょう。そうしましょう。

と、このような心理が本能を進化をしたのではないかと思います。おそらく大阪に移住したらその本能も徐々に培われていく事でしょう。

迷路のような路線の中には座席が対面式の電車もありました。席が空いていても先に乗っている方に気を使う場面ですが、大阪は違いました。「すみません、隣いいですか」などありません。考えてみるといいに決まっているんです。巨大なゴロゴロバッグを持った二人組が対面に乗ってきて、膝が直角にしかできなくなっても公共交通機関であり、席は空いているんですから「すみません～」などナンセンスなのです。また商業施設に行った際には、エレベーターが終点フロアについて、私が操作ボタンの前にいたので「開」ボタンをずっと押して人が降りるのを待っていたのですが、一緒に居た知人は、何を無駄な事をしているんだとプンプン丸。「押し続ける必要がないでしょ！今どきのエレベーターは人感センサーが働くんだからドアは人を挟まないし、操作盤の前に居座られたほうが迷惑千万！時間が勿体ない！さっさと降りればいいのよ！」と。（…泣きそう）なるほど、どうりで誰にも感謝されなかったはずだ。街中を歩く人々の目的は目的地にたどり着くのが目的。無駄なワンクッションはいらないのです。携帯に電話して、「今お電話大丈夫ですか？」「大丈夫だから出てるんです！」に似ています。

住む街って、何か直感的に合うあわないがあるといいますが、仙台は、比較的住みやすいって聞きます。大阪は外国の方も多いし観光地なので、街全体が活気があって明るくて楽しげで、自転車人口がめっちゃ多かったです。

皆さんはどの街がお好きでしょうか。

当院ではMRIを用いた乳がん検診 「ドゥイブス・サーチ」を はじめました。

2/1より
開始しました。

午前8:00～午後4:00

予防医学センターで
ご予約を承ります。

安心・安全・痛くない 無痛MRI乳がん検診の特長



痛くない



見られない



被ばくがゼロ
だから安心

ご予約はWEBまたはTELにて受付

予防医学センター(直通)

☎ 022-771-5117



編集
後記



旧病院の書庫の荷物の中から古いアルバムを見つけました。表紙と右の写真は37年前の開院当初の写真。当時の職員から培ってきた地域の皆さまとの信用・信頼を受け継ぎ、これからも、診療の充実に努めてまいります。

地域連携室/千葉 英二



基幹型臨床研修病院の役割

当院は、厚生労働省より基幹型臨床研修病院の指定の元、現在は初期研修医2年次2名・1年次5名を受け入れており、臨床研修協力病院・施設と連携した研修プログラムを充実させ、患者さまに対して、安心でより質の高い医療を行える医師を育成してまいります。基幹型臨床研修病院の責務として、地域における中核的医療機関として更なる充実に努めて参りますので、何卒ご理解、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

 医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院

〒981-3116 宮城県仙台市泉区高玉町9-8
TEL: 022-771-5111(代表) FAX: 022-771-5100
HPアドレス <https://sendai.tokushukai.jp/>

2023年(令和5年)7月発行
医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院 広報誌
編集・発行: 地域連携室
印刷所: モリタ印刷株式会社



仙台徳洲会病院
看護部



臨床研修
センター



広報

